

第 4 回 中央公民館建設検討委員会 会議録

開催年月日	平成 2 7 年 7 月 2 9 日 (水)
開催場所	岩美町中央公民館 第 3 研修室
出席委員	小山勝之進 湊 孝明 永美春美 日下部武志 山田恭子 岡田美恵子 片山長生 稲葉扶美子 吉村計宏 岸本みゆう 山本達雄 米村裕子
欠席委員	田渕寛幸
職務出席者	寺西教育長 松本次長 中島課長補佐 小谷係長 山口公民館長、谷口係長
開 会	18 時 30 分～
記 録 者	
日 程 等	一 日 程 一 1 開会 2 委員長あいさつ 3 協議 (1) 建設にあたっての基本的な考え方 (基本方針) について ・ 視察報告 (青翔開智中学校・高等学校、ヴィレステひえづ、まなびタウンとうはく) ・ 基本方針 ・ 複合施設 (設備、用途など) (2) その他 4 その他 次回開会予定日 5 閉会 ○資 料 ・ 視察施設の検証資料 ・ 岩美中学校 P T A からの意見 ・ 基本方針 (目的) について ・ 複合施設計画に対する意見

協 議 の 経 過

委員長	《1 開会》 7月23日は日吉津まで行き、帰りには同じくまなびタウン東伯の視察をさせていただきました。 その辺を踏まえて、資料1において片山委員さんがざっと書いていただきまして、こういう形だったと思います。 本日4回目になりますので、少し中身を詰めていきたいと思います。特に複合施設と言うことで少しみなさんにご意見を頂戴したいとおもいます。あとは事務局のほうで、もう少し詳しく説明をさせていただきますのでよろしくお願いします。
事務局	みなさん、こんばんは。いろいろお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 そうしますと、レジュメの方に従って説明をさせていただきたいと思っておりますが、始めに前回のときにお詫びになりますが、現状と課題、問題点をいろいろ出していただいて、とりまとめしたものをお渡しできればというふうにお話しておりましたが、ちょっとまとめきれないところもあったり、遅れているところがあったりしまして、今日に間に合っていないということになっております。また改めて送らせていただきたいと思っておりますので、ご了解いただければと思います。申し訳ございません。 協議事項の中で建設に当たっての基本的な考え方・方針についてということ挙げさせていただいておりますが、始めに先ほど委員長の方からありました視察の方に3施設、行っております。その中で資料1の方に施設の概要であったり、話の中で話題になっていたようなことも含めて列記していただいておりますので、これを見ながら、もし、視察の施設で感想のようなものがあったり、こういうことがどうだったというように感じたことがありましたら委員さんの方からご意見なり感想をお願いできればというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。 とりあえず、そういうところで視察施設について感じたことをちょっとお話いただければというふうに思っております。では、報告がてらといいますか、よろしいでしょうか。 青翔開智については、施設としては中央公民館、図書館というところと、学校というところで施設成りが違うということもありましたけども、新しい施設でありますし、建設に対してもコンセプトがどういうものであったか、あと行ってみたら新しい設備があったというところがあるので、私的には参考になるところもあったのではないかと考えております。では、委員さんの方で何かありましたらどうぞ。
委 員	私は青翔開智をお勧めした最大の理由は、あのぐらいの建設費でもあんなことができるのだということです。 坪単価を言いますと約90万円、70万円ですか、そのくらいだということです。

逆に比較すると、まなびタウンとうはくの場合は全部で 27 億というぐあいです。まさしくハード中心の施設ということです。それともう 1 つ青翔開智の面白いと思ったことは、ラウンドセンター中心がコミュニティとしてあって、そして辺縁という、分かりやすいということですし、中央公民館としてまず地域住民の交流のやり方というので、キーワードは図書情報、新しい形の情報サービス、例えばスカイプのようなものを通して人が集まると、集まって会話をする空間というのがあるということです。例えば、岩手県紫波町のオガール、それから九州の佐賀県武雄市図書館はコーヒーを飲みながら本が読めるということと、それからバックグラウンドミュージックを流して本を読まして、コーヒーを飲ましています。それから会話をどんどんしてくださいという旧来の図書館のイメージを変えて地元生活をドッキングさせていくということによって、参考になったのではないかなという感じがあります。

まなびタウンとうはくの図書館を見て気が付いてみたら蔵書中心の図書館というのは、サイドはものすごいスペースを取るのだということです。だから、これからは蔵書を脱・蔵書の図書館をどう造っていくかということじゃないと金を何ぼでも食ってしまいます。

図書館に常勤している人が十数名ということで、結局、本の処理に間接的な労務に多く人を取ってしまっているということです。よっぽどお金持ちの町でないといふことができないということを感じましたので、反面教師として東伯のまなびタウンを見て内心正直なところを思っております。以上で私の感じたことでございます。

委員

2ヶ所、視察に行かせてもらいました。東伯は少し規模が大きすぎるので、岩美町としてはできないところですが、日吉津は面積的にどうかと思いました。ホールの丸い間隔が岩美にもできれば、金のかかることかもしれませんが人が集まってくると思いました。あれは 150 のものでしたが 300 くらいのものであれば、ホールとしては、いいなと感じました。

図書館は岩美町とそんなに変わらない面積で蔵書もだいたい同じようなものだと思いますけど、やっぱりあのような規模の図書館はできれば欲しいと思いました。

あとの施設ですが岩美町としては、どのような範囲に建てるかですけど、面積・スペースがとれるかなというような感じがしました。やっぱりホールがメインなのかなと思いました。

委員

青翔開智は都合があって行きませんでした。日吉津と淀江と米子と一緒にあって日吉津がどんなものか知りませんでした。聞いて見れば公民館に来るのに歩いて 30 分だと聞いてみて驚きました。

非常にコンパクトでいろいろよく考えてできていて、焦点も絞っていて、参考にはなりましたが、岩美町は岩美町として、日吉津の真似をとというだけでなく、岩美町は岩美町に合ったことを考えていかないといけないということを思いました。それから東伯はびっくりしたのは図書館です。あんな図書館だとは想像もしま

せんでした。結局、県の図書館と町の図書館とあるいは学校の図書館と、どういふふうに連携しているか、県立と共存しても意味がないので。東伯は場所的に米子の県立図書館とか私立図書館、倉吉も倉吉体育文化会館がどんなふうに関係があるかは知りませんが、ちょっと〇〇とか大きな構造もあるとか作業とか。

驚いたのは職員の数です。7人や8人も図書館だけで働いていて、これはすごいと思いました。

委員

日吉津は淀江町とその使い訳を考えてやっているから、あのようにコンパクトなものになっていることは理解できました。ですから、大きな部屋が必要なときは淀江の方をお願いするということで大広間というものがなかったです。いわゆる細かい部屋、図書館は独特のものという施設になっていました。

東伯はあの施設そのものが5階建てで、ものが広いです。これは鳥取県からいろんなその団体に来ていただく中心の建物として考えていますよ。

だから、ああいう大きなものになっています。利用度も高いと思います。地元で使うのと、おそらく他の団体で使うのと同じくらい、もしかしたら他の団体のほうが使われる、利用されるのが高いのではないかなと理解しています。ですから、考え方が本当に地域だけで利用していただくために良いものを造るということなのか、そうではなく鳥取県なら鳥取県だけの広い分野のものを利用していただきたいということで考えた施設という、この2つの考え方でないかなと私は理解しました。

琴浦は例の自動の観覧席なんか大変な事業です。便利なことは便利だけど200以上の席にするということですから、相当考え方を新しくして先を見込んでの施設だと思いました。ああいう施設にしているところは多分ないと思います。

委員

青翔開智の中央のラーニングセンターは参考になりました。非常に明るくて採光があってガラスも紫外線や熱をカットするためのようなガラスを使っているということをお聞きしまして、明るいスペースがあると良いと思いました。それから各室にプロジェクターが備え付けてあったが良かったです。

日吉津に関しては、すごく細かいところまで行き届いていて給湯室が2階にもあったのがすごく印象に残っています。あと、避難、災害、野外の設備については問題があると思いますが、そういった所もしっかり考えられていることは今後私たちも考える必要があると思います。

ホールにつきましては150席で音も良くないですし、ここよりもさらにステージの出入りが狭かったので可動式という点ではもちろん参考になりましたけど、岩美町が造るのであればもう少し300、500は必要でないかなと思います。それから出入り、控え室等を備えたホールが必要ではないかと思っています。

東伯についてはでかい、とにかく全てがでかい。言われたように外部の利用を中心に作られているのではないのかなという感じはします。なんといっても図書室です。あれだけのものを作るとなると、蔵書を置くってことを考えると、どうしても規模が大きくならざるをえないわけですけど、そのへんどう考えるか、どう連携を

とるかということをやっと考えなくてはいけないのかなって言う気はします。

委員

私も見せていただきましたが、今だいたい言われたことと、かぶるかもしれませんが、私はホールに興味があって見せていただきました。

日吉津の場合ですが、人口と世帯数がちょうど岩美町でいえば浦富地区程度の人口と世帯数の規模と同じくらいだとお聞きしました。ホールも 150 席の可動式ということでした。ですが入った時は立派だと思いましたが、やっぱり岸本委員が言われたように、お金がかかるだけで全然音が響かなくて、これだったら今の中央公民館のホールのほうがいいな、せっかくお金かけてしておられるのに惜しいなと思って参考にさせていただきました。

実際には、この世帯数と人数で多目的ホールをあれだけお金をかけて造られているのに、大きな演奏会の時には淀江を使うと言っておられたので、せっかくお金かけて作られたのに、実際このホールを使われる地元の方の利用頻度がどのくらいあるのかなと思い、そこを心配しました。

それから子育てに力を入れるというので検診や、子どもが遊ぶ場所などにすごく大きな場所・スペースをとっておられました、お聞きしたら、利用度が少ないというか、せっかく良いものを造られたのに満足に利用されてないようで惜しいなと思いました。これからどういうふうにされるかが問題だとは思いますが。

良いと思った点は防音室を多目的に使えるということで、小グループの利用でリハーサル室とか太極拳などいろんなことをするというところです。

また、小さな子どもや大人の使わないときは子どもたちが夏休みに勉強する場所というふうに防音室が使えるのであれば良い考えだなあ、参考にできるなあと思いました。

それから、個人的にはやっぱり複合施設で図書館の充実を考えていまして、岩美町も図書館をいい具合にして欲しいという思いがあります。

東伯の図書館は、すごく立派でした。確か私の記憶では図書館長さんが職員は 11 名だと言っておられました。これは時間とか利用する方は良いと思いますが、かなり税金使うと言いますか費用がかかると思いました。

あと今の時代ですから、若い人はコンピューターの方を利用する方もあるので、お金はかかるかもしれませんが、図書館をオープンにして IT や無線ランなどのパソコン関係を充実させた方がいいと思いました。それだけでなく実際に手に取って本を読むことも大事ですので、これからを考えれば上手に機械に頼る部分と昔からのものを上手に併用できたらいいと思いました。

青翔開智を見学させていただいて、すごく参考になったのは、ホールのオープンスペースが広くて職員が少なくても全体の様子を見られていたことです。これは中央公民館の建てるときに、このオープンスペースはとても参考になったと思います。

委員長

確かに校長室までもオープンにしていたので、びっくりしました。学校の先生も職員室も校長室もオープンにしています。極端に言うと生徒もすぐに校長先生が

見られるということです。非常に新しいです。

委員

日吉津の方が補助金の関係で県内産の木材がふんだんに使ってあるので温か味があって、すごくよかったと思いました。

先ほど永見委員も言われましたけども、会議室も仕切りを使って部屋を大きくしたり小さくしたりできるので、そういう使い勝手のいい施設がいいなと思いました。

図書館ですが、閲覧の椅子が少ないのが気になりましたが、全体としては雰囲気は優しくて私は良いと思って見させてもらいました。

またお話の中で「施設は人だ」と言っておられました。これから職員さんを村民のために育てて、施設を育てていきたいと言っておられたので、本当にそうだなと思いました。やっぱり良い施設を作っても、どれだけ利用してもらえるかが最後には見られるので、そういう部分も考えながらの施設にしていけないといけないと思いました。

館長

日吉津の方を見させていただいた感じですけども、新しいものがいいと思います。最初はそういうふうに思いましたが、ヴィレステホールのガラス戸があって大山が見えるというのには、見栄えは良いけど何の意味があるのかなあと思いました。お金をたくさんかけてするものかなと思いました。

図書館をよく見ましたが、それなりにこじんまりといろいろ考えられて造っておられました。人数のこともあったりして盗難防止をしたり、自動貸し出しや返還もしているので、これからはああいうことは必要になってくるかもしれないけども、そこまで町村単位で入れるのかなと思ったりもしました。

あとは出会いストリートという入ったところの広いスペースですね。あの使い方がどうするのかないと思いましたし、暗い感じがしたので、もうちょっと明るければいいなと思いました。

琴浦は全県を対象とした施設みたいな会議室に貸せる施設ということが大きな目的のようですので、うちには該当しませんが大変親切に案内していただきました。それぞれ良いところ・悪いところがあって、うちの方に上手に取り入れることができればいいなというふうに思っています。

事務局

青翔開智については、先ほど言ったような感じです。新しい施設でみなさんが言われるラーニングセンターのような皆が集まる場所がありました。岩美町の中央公民館を考えたとき、ホールに人が集まるようなイメージのところになるのかなというふうに思ったりしました。

日吉津については、特に新しい施設で多目的ホールもあって可動式の椅子もあるというのを聞いていたので、やっぱり規模的には倍の300人とか現状の中で話があった今、うちが想定している実績ある人数を、実際に講堂に入る人数で考えたときには規模は小さいかなと思います。どちらかというと、まなびタウンと同じくらいの規模になるのではないかなというイメージがあります。

	ただ、可動式をするのがいいのか、椅子があるような据え付けの椅子があるの いいのかというときに、どういう使い方をするのかというのが思ったりもしました。 例えばとても大きな広い部屋を造った場合に、その部屋を使いたいときは、どんな こととして使うかなと、いろいろ思いました。 図書館については、なんとなく規模的には日吉津は今の中央公民館の図書館より は大きいと思いますが、ああいう感じだろうと思いましたし、まなびタウンについ ては良いのは良いかもしれないですけど、すごく大きい施設だと率直には思いまし た。人数的にもみなさんが言われるように、すごい人数でやっておられるなと思い ました。
委 員	あの図書館の職員は教育委員会から入っておられるのですか。
事務局	いいえ、図書館のみの採用です。図書館だけで 11 人です。
委 員	その中で図書館の担当者を決めて管理しているのでしょうか。
事務局	東伯の教育委員会の職員は、館長だけが正職で、他の 10 人は非常勤だと思います。 非常勤の職員の中には司書も資格を持っている人や持っていない人がいました。 ただ、ちょっと聞きそびれたのは、勤務で常時 10 人いるのか、ローテーションを 含めて 10 人いるのかっていうのを聞きそびれたところがあったなと思っています。 職員の採用は 10 人でその中に司書の職員の資格を持っている人もいるけれど、常 時そこには 10 人はいたと思います。机の数が結構ありましたので、結構いるのかな とは思いました。 まなびタウンには、最後の方に行きましたが民族資料館というものがあり、利用 度がどうかなあと思いました。資料的に管理しているということはいいかもしま せんが、それこそ利用度や可動率や年に何回使っているかが、結構なスペースをと っていた施設だったので気になりました。 あと、日吉津については、いろんな機能、複合施設ということで、図書館、中央 公民館、ホール、子育て、健康増進、防災みたいなのところもありました。 役場が万が一、何かあった時には第二の役場になるような機能もありますよと言 われていた割には、1 階に電源が全部集まっていたので、いろんなことを考えたら どこかで、しわよせではないけど、そういうところも出てくるのかなと思いました。 いろんなものを付けることはいいと思いますが、いろんなものを付けすぎてしま ったために、それぞれが中途半端になってしまい、どこかが落ちていたという格好 になるのも、どうだろうという印象もありました。 もうひとつ、食べ物の所というかカフェや喫茶店というところがあったなと思い ました。青翔開智にしても食堂みたいな所と調理実習室が隣同士にあって、いざ食 事のときには調理実習室とレストランも食堂みたいな格好にできるように扉を開い たらオープンスペースになっていました。

	あと日吉津にしても、どこかの喫茶店がありましたし、まなびタウンも喫茶店みたいなどころがありました。やっぱりそういうものも一緒になって集ったときの何か集まる所というか、息抜く所ということで、そういう所も必要だという感じがします。
委 員	最近は人口の規模が違います。
委員長	3500 くらいですか。
委 員	4000 もなかったでしょう。その人口の規模だったら、なかなか施設を利用しないでしょうね。
委員長	私は委員として意見を言います。片山先生が勧めてくださった青翔開智についてですが、驚いたのは我々が考えている学校とは全く違うイメージだということです。非常に横江さんらしいコンセプトですごいなと思いました。 他に驚いたのは例の部屋の中ですが、例えば会議室の壁が全部ボードになっていて文字が書けるようになっていました。良い悪いは別問題として、この部屋全部がボードになっていることで、どこでも誰でも 3 人でも 5 人でも遊びながら話ができるということで非常にびっくりしました。 トイレまでびっくりしました。水の出ないトイレとか。韓国の様式だそうです。学校のイメージというよりも大企業、最先端のものが入っていて、ちょっと驚きました。
委 員	3 点セットですよ。流しも給湯・給水それから手を洗った後の乾布の 3 つ付いていました。
委員長	細かいところまでいろんなことを考えてありましたので、驚きました。おそらく一般の方だったら学校はそこまでと言ったら怒られるかもしれませんが、なかなか難しいなと思いました。それが 1 点です。 それから 2 点目ですが、僕は、まなびタウンが何十年も前に出来てからしばらくしたときに、たまたま偶然あそこの前で食事をしていました。横を見たら図書館と書いてありましたので終わった後にずっと見てまわりましたら、あまりにも大きいのでびっくりしました。 僕はかなりたくさん通っていますが、一番奥にあった畳の部屋に僕が行くたびに、いつもおじいさんが寝とられましてパンを 1 つあげていました。畳の部屋が涼しいものですから、どうやらお休みになっておられるという非常におもしろいと思いました。中を全部見させてもらいましたけども、これは図書館だろうかと、この田舎ですごいなと思ったのが僕の印象でした。 まだ地下にも実は電気が止まっても何時間か電気がつく充電装置まで造っておら

れまして、すごいなと思いました。

日吉津につきましては、今、皆さんがおっしゃられましたように前に片山委員がおっしゃっていたように、1つのことに使うのではなくて非常にうまく部屋をオープンにできるような形で作られていました。かなりコンセプトも大事なのかなと思いましたし、周辺のこともしろんなことも考えながら、やっているとも思いました。

ただ複合施設にするとしたら岩美町の場合は保健です。ここは近いですが、日吉津はどうだったかなということです。うちと日吉津は条件が違いますけど、あそこは米子が遠いということで子育てというのも含めていました。

岩美町も今あるこの施設のコンセプトというと講堂です。あと図書館があります。複合施設として、いろんな方から意見もあるようですけども、どういうふうにシステムの中に入れていくのかということです。今のままでいいという意見もあると思います。

それから永美さんが前におっしゃたように他の施設交流いわゆる、地域の公民館ですね。今は立派なものが建っております。その境遇と言いますか、その辺を地域は地域で使えるような、そして、ここでないといけないようなものを造るのがいいのかなとしろんなことを考えながら、やっぱりせつかく造るならそういう考えをしないといけないと思いました。

みなさんのご意見から複合施設でやっていこうということですから、今の図書館とホールの他にさらに施設をプラスするとすれば、どういう複合的に使えるものかいいのかなというのが私の感想です。

委 員

先ほど松本次長が言われたように、東伯で僕も思いましたけど複合施設ということで、これからホール施設とか図書館とか常識的に分かりますが、何かのときに展示施設とか歴史民俗施設という言葉が出ていました。

東伯の場合は立派な施設でした。普通、歴史民俗資料といったらお金がないので部屋に保存だけというのがほとんどです。歴史民俗資料館だけでも美術館、動物園と同じ歴史民俗資料館だけの大きなリンク施設が必要になります。1つの町村で町の歴史を語ると言ったら大きなスペースがいります。たいてい町はしまっておくだけです、そういう意味では東伯は展示がしてあって、ちゃんとボタンを押したら動くし、すごいなと思いました。

そうすると岩美町の歴史民俗をどうやって展示するのか、そういう施設を本当に造るのか、造るとしたらどの程度にするのかということが、これから大きな課題になってくると思います。

それから展示するにしても、町民の作品は衝立を出して廊下に展示できるようになります、普段はそこらへんに置いてあったり廊下にいろんな人の作品が置いてあったりして、それで展示のバランスが良いのか悪いのか分かりませんが、書道家や何か置いてあって「皆さん見てください」ということで良いのかということです。

岩美町の歴史を語るスペースをどうするのか、展示をどうするのか、それもこれから大きな課題になってくると感じました。

委員長	小山委員が言われたように複合施設ということで、たぶんそういう目標もありましたので、どこまで要望を入れた中でやっていくか、どうしてもできないということはやむを得ないということで全部は出来ませんので最低限度、岩美町としてどの辺までやるかってことは悩ましい問題ではないかなと思っております。
委 員	私は大変残念ながら参加できませんで、今、お聞きしたところで私は青少年宿泊施設のようなものが今はいないのかなと思いました。例えば大山の青少年自然の家とか、そういった施設が無いのですが、これは事故があるということで、このようなことはできないのでしょうか。 私たちが食生活をしていたときは中央公民館に子どもたちが泊まって、食生活が朝食を作りに来たりしていました。今も北小学校だったと思いますが、そういうことをやっていると思います。そういうことが盛んにありましたが、どこにも宿泊施設が付いていないので、今そういうものはいないのだなと思っています。
委員長	いないというか、実は岩美高校の生徒さんから、そういうご意見がありました。宿泊施設を中に入れてもらえないだろうかと。どういうことかという、音楽の合宿をしたいから、そういう要望が出てきました。 教育長さん、今でも通学合宿はやっておられますか。
教育長	通学合宿は現在やっておりません。
委 員	北小が何かやっていませんか。
事務局	陸上の方で宿泊の拝見をさせていただいたことはあるにしても、中央公民館を会場にすることはやっておりません。
委 員	中央公民館は 10 年ほど前だったかもしれませんし、もっと前かもしれません。
委 員	北小の 4 年生とかが 1 泊 2 日でコミュニティーを使って、去年、宿泊学習をされていて、今年もその予定があります。クラスの 1 学年 40 人ほどがコミュニティーに泊まりました。
委 員	こういう宿泊施設を建設したときは係りや何かが大変複雑になりますものね。
委 員	それが中央公民館にいるかどうかはちょっとね。

委 員	そういうホテルでもあるような中央公民館もいいなと思いました。
委 員	先ほど民具の話があったと思いますが、岩美町でも、いこいの里にあったものを保管したことがあったでしょう。今でもあればありますか。
教育長	まず岩美町の文化財の中で出土遺物、埋蔵文化財の出土、それから民俗資料と呼ばれる様々な資料の一部はふるさとの旧民家にあたりりましたが、なくなって教育委員会が管理しているものについては、旧二上中学校に保管とか置いてあります。見ようと思ったらいつでも見える形にはなっております。そういったところがあるのみです。
委 員	以前は第二研究室の辺りに置いてありました。それを小田に持って行きましたね。
教育長	埋蔵文化財はけっこういろいろあります。
事務局	琴浦の先ほどの人数の話があったと思うので確認したところですが、図書館は 10 人くらい職員がおられますが、少ないときで、遅番を入れて 6 人くらいで回すということだそうです。ただ平日はやっぱり 8 人から 10 人くらいでやっているという状況です。日曜日は 4 人で回しているそうです。
事務局	ローテーションがあるということです。
委員長	それにしても 10 人くらいはいるということですね。 実は先ほど行かれた方も行かれてない方もおられましたけども、視察の方の部屋のイメージ・印象はある程度みなさんの頭の中で良いところも悪いところも入っておられると思いますので、片山委員さんから資料 1 で概略については、中身はこういう施設でしたよということで、中身については、みなさんからそれぞれ感想をいただきましたので、これを参考にしながら、もう少し整理したいと思っています。 それでは次の基本方針について少しみなさんとお話をさせていただければと思います。
事務局	資料の説明を先にすればよかったのですが、資料で、新中央公民館に対する意見というものがございます。これは、中学生・高校生に意見交換を開きましたが、PTA の関係の方には、それぞれ小中学校の PTA の役員会なりで意見をいただけないかということで投げかけておりまして、中学校の方からは先日来ましたので、とりあえず中学校の方だけになりますけども、こういう意見がありましたということをお配りしておきます。参考にさせていただければと思っています。 続いて、資料 3、4 にもからめてですが、委員のみなさんの方から基本方針について、どういうものがあるかというようなものをお願いしておりまして、まとめとい

うことにはできていませんが、つけさせていただいております。

そういうような中で、キャッチフレーズの的なものやキーワードみたいなものが、それぞれの委員さんから出ておりますので、またご覧いただきながら話をしていたらというふうに思っております。

こういうような中でどうしても外せないというものが出てくれば、確認できればというふうに思っております。

この辺がちょっとよくあるハードが先かソフトが先かになりますが、やはり建てるってということが目的ではなくて、何を目的に建てるっていうことが出てくるところだと思っております。あとも 1 つ資料 3 と 4 というのが同じようなところになりますが、3 があって 4 があるのか、4 があって 3 があるのかというところになりますが複合施設にするという前回の話の中で複合施設は、どういうものを図書館であったり、ホールであったり、どういうふうな施設を合わせ持ったらいいのか、どういう機能をもたせたらいいのか、委員さんの方をお願いしております、それを提出していただいております。

また、あわせてイメージと言いますか、理由と言いますか、そういうものをいただいておりますし、自由なというところで、それに伴うようなものも書いていただいているような状況でございますので、またこの辺を見ていただきながら話を膨らませていければと思っております。

基本方針と言いますか目的で、例えば日吉津であったら日吉津の基本方針では楽しく集える癒しと学びの場というキャッチフレーズの的なものがあったりして、他のところで言っても、やはり公民館を建てるという中では、キーワードとしては学びであったり、集いというような言葉であったり、こちらの資料 3 とかにもありますが集いであったり、気軽にとか、そういうようなものがキーワード的にはあるのかなと、あとその交流とか繋げるとかそういう言葉が多々出てきますので、そういうところが基本方針のキーワード的なものになるのかなと感じたところです。

委員長 3 番と 4 番の資料ですが、実は今日、委員会があったもので教育委員会と細かい打ち合わせができていません。

資料 3 として、みなさんからいただいたものを今日提出させていただきますというお話を聞きましたので、まだ全部読んでいませんが、もし山本委員さんが詳しく書いていただきましたので、ポイントということで聞かせていただければどうかと思います。

委員 これは基本的な考え方で方針のところ、☐ ☐ こういうものを念頭においてものを作るのが公民館だろうなとイメージを持っています。

さらに複合施設というところを考えたときに、なんで複合施設にするのか、様々な複合施設にするために経費を抑えるとか集客だとか利用者数を増やすとかいろいろな考え方が出てくると思いますが、この中で、どういう複合施設が一番適当だろうかと思ったときに、これまで岩美町の出ている資料として、4 月から見ている限りで

	は、このようなものが想定されるのかなと思いました。まだまだ細かいことを言っ て、いろんなことを書かないといけないだろうと思いますが、それは議論してい けばいいと思っているので、1 番最後に※印で言っていることです。
教育長	ちょっと教えて欲しいですけども、イニシャルコストの意味と町全体の模型図と いうのはどんなイメージですか。
委 員	町全体というのは岩美町の 3D の例えばグーグル航空写真とかあるじゃないです か、山があっっているようなものがあって、岩美町はこういう町ですよと分かるもの です。県庁の方にあります。ここに岩美町をたずねてきた人が、浦富海岸はここだ、 鴨ヶ磯はここだなとか、さらに行ったときに柱状節理というのは奥にあるんだねと か、そういうものがどんどん示されていったら、来た人がそこに出向いて行って勉 強するということです。例えばですけども。
教育長	分かりました。どんなイメージかなと思いました。出てきたのは箱物しか思い浮 かばなかったの。イニシャルコストの意味はどうですか。
委 員	イニシャルコストというのはここでいうと、それぞれ 6 億とか 10 億とかありま すけども、それをどれだけ小さくするのかということです。 それはどういうことかと言いますと建てる場所をここにするのか土地を取得して 別のものにするのかです。駐車場が必要とか必要じゃないとかありましたけど、駐 車場を考えたときに地下に置くのがいいのか、それとは別に土地を買って置くのが いいのかです。そういうことを全体で考えていくのです。 それともう 1 つは木製にするのか鉄筋コンクリートにするのかそういうことを想 定してイニシャルコストを考えていき、みなさんが満足できる施設を考えていくの かなということです。
教育長	すいません。ありがとうございました。
委員長	岸本委員さん、ポイントがあったら教えてください。
委 員	前にも質問させていただきましたが体育施設、体育館があってテニスコートがあ ってというふうに体育施設が隣接しているわけですので、体育施設との連携ができ る複合施設というのが必要だろうなと思って、テニスコートをインドアにしたらど うかということで書かせていただきました。 中学生高校生との意見交換会のスパンをとかダンスホールとかそういった、いろ んな意見も出たのですが、そういうことも考えてはどうかと思います。 僕の 1 番のポイントはアクセスを今以上に、これはある程度決まってから考えれ ばいいことかもしれませんけれど、せっきゃく駅がある、せっきゃく役場がある、せ

かく道路がある、でも公民館どこっていう状況が今あるので、それは改善していかないといけないだろうなと思います。

委 員

大前提として、ここに造るということを前提にいろいろ話をされているように感じがするのですが、ここに造るってことから、もっと自由に考えていかないとだめなんじゃないかなという感じがしております。

例えば、ここに造って、なおホール 350 ぐらいということになると、いったい駐車場はどうするのかという実は大変な問題があるわけです。

また、本体そのものも、現在のこれに明らかにホール部分が引っ付くと思いますし図書館部分もかなりのスペースをとることになります。

今、駐車場の車の台数を数えましたが、役場の職員が置いているのは 150 台くらい、病院の方は 50 台くらいです。だから駐車場はテニスコートをつぶさないと確実に不可能です。それでも、つぶしたとしても 250 くらいです。350 となると、とてもじゃないですが足りないですね。

そうなるとう度は田んぼを埋めないといけないだろうということです。ただでさえ軟弱地盤であるのもかわらず、本体を大きくしないといけません。もっと埋めないといけないとなると、かなりのお金を本体そのもの以外につぎ込まないと大変なことになるということを考えなくてはいけなくなります。

私は町長がおられるときに、あえて質問したのは町長が案にだいたいこちらという表現をされましたけど、それから自由に考えていいですね。と聞いたら良いとおっしゃった。

ずばり私は言わしてもらいますけども、10 年前の町の街並みを造るときに、この前配らせてもらいましたが書いていませんでしたが、実は中学校建設にあたって、あそこにミニホールと図書館を造ってくださいということを教育の町構想委員会で考えました。

そして意見を入れていましたが、実は中学校建設検討委員会で全く議論がされていませんでした。実はそのときに、委員の方から将来、中学校がせいとけんになっていきますが、こんな大きなものを造っているけども、必要ないところが出てくるのではないかと、という質問があったときに町長がなんと答えておられたと言うならば、将来、社会教育施設として使えばいいんだということをおっしゃられました。

それから将来、町長は芸術村のようなものを造りたいということをお教育の町構想を造るときに言われました。それは明らかに牧谷のあたりを想定しながら、実は町長は言っておられて、それを盛り込んで教育の町構想を造っているんです。こういう背景があります、と言う意味で、大前提でここに造るとなったときに、実はコンセプトの中身が縛られてきますよ、ということですね。それでいいのかなということをお正直に思います。

同時に、昔こうだったの論理でものを造っちゃったらだめだということです。そういう意味であえて青翔開智を見ていただいたのは、今、学校でさえ学びのスタイ

ルを変えようとする横井さんの発想が探求という教室を中心としたレクチャーからどう子どもたちを自由に交流させながら子どものことを考えていこうという具合に、やったときにああゆう学校を造ったというわけですね。それで学校関係者はびっくりしています。

ところがこれはちらっと言ったように、実は鳥取県東部の教員連中は全く行かない。けども他の県がどんどん見てきています。どういう流れが起こっているかと言うと学校は探求というものを中心に進んでいるわけです。

それからプレゼンテーション能力をどうつけていくかというようなことです。そういう明らかに教育の方向を違うものを通して、実は学校の姿を変えていったということです。そうすると我々が委員として考えるときに、社会教育施設としての中央公民館はこれから、どうなっていくかといけないということを通して、うわものを考えていかないといけないじゃないかなということです。

昔こうだったからこうで、どれだけ自由にものが考えられるかということをしなないと、だめだと思います。

場所をご存じの通り、これから10年くらいで小学校は1つなくなります。今の小学校1年生がたぶん、教育長さん、50何人ですね。

委員 今年は59人です。来年が80～90近いです。今の1歳児までは分かっているので、だいたい90人ぐらいです。

委員 将来的には小学校が1つ無くなります。そういう問題が起こってきたときに、いわゆる公の施設がういてくる、例えば岩美高の流れも、岩美高がもし廃校になったときにどうするかです。大きな町の中心に大変な空間ができる、というようなことを総合的に考えていったときに将来の岩美の社会教育の方向と合わせたときに本当にここにこだわって造っていきますかということに対して、もしそういう流れでしたら、私はいろいろな疑問をあえて提示したいと思います。

委員 片山委員さんや永見委員が、おっしゃったことから人口減という問題もありますので、先を読みながらするとすると大変な作業だと思っております。

ほとんど毎日、中央公民館の前を通っていますけど、その小屋から見て、この田んぼは誰が持っているんだろうと考えています。

体育館の裏に田んぼがありますが、草がたくさん生えています。ちょうど道が真ん中を通っていますので、道をつぶすわけにはいきません。そうすると分断されていますので、ひょっとしたらこっち側の裏側の方を片山委員さんが言われた通り、本当に、今みなさんが要望されていることを含めて建てるというと、駐車場はきついなと思います。もうちょっと広がった方がいいなと思っております。

将来、子どもが少なくなって空いた学校ができるということまで考えないといけないのかなという思いもあったりしております。僕自身がね。

片山委員さんがよく知っている通り、他の県は学校を老人の方にオープンにして、

	お年寄りの方の踏みこみの場所みたいなものを学校の中に入れてあるケースもあります。そういう使い方をそれはその使い方ですから、将来的にいろんなことを考えると大変、頭の中がこんがらがるとか、難しい問題だなと思っています。ただ建てればいいというものではないなと僕自身は思っています。
委 員	岸本委員がスポーツ施設と充実させて併設するということを言われましたが、岩美町の体育館は本当に小さなものだと思いますし、やっぱりあれだけではなくて、インドアの雨の日でもテニスができるとか、羽合町がやっているようなことを頭の中に入れて動かないといけないと思っています。中央としてはその必要はあるのではないかと思います。
委員長	私自身として片山委員さんがおっしゃたように、お金の問題や場所の問題を考えながら図書室を含めて本当にいいものを造ってあげたい。やっぱりみんなが頑張っていて努力していろんな意見をまとめてよかったなあというのができれば私は本望だと思っています。
委 員	今、片山委員が言われた通り、問題は、場所を本当にどこに建てるかということです。それから出発しませんと中身はそれから考えればいいわけですので、場所から考えて、それから設計などを組まないと全く先に進まないのではないかと思います。確かに すればそういうことも考えていかなければいけないですが、まず場所をどこにするかということを考えないといけません。 今まで町有地もいろいろと図面を出して見ましたが、確かにそこは今の面積から言うと足りないと思います。だいたい希望としては今の面積くらいは取りたいと言われますし、そういうことを考えるには、建てる場所を考えないと分からないのではないかと思います。
委 員	これは計画をまとめて用地を確保することもあるし、建物があるからどうするかと考えることもできるし、やっぱり施設の中身はある程度考えないといけないと思います。
委 員	日吉津みたいに事前に土地を買っておくなら手がかからないですけどね。岩美町は、これから土地も決めないといけないのです。問題はそれです。
委 員	土地を買ってまでやるかというところまで検討させてもらわないと、理想に近い施設は造れないです。
委 員	予算は町長が何もかも含めて上限は 15 億円と言われました。そういうふうにタガがはめられているわけです。その流れの中で私がここで危惧するのは、目に見えないところで言ってみれば基礎工事です。軟弱地盤で、どのくらいかかるのかという

ことを、それによって本体そのものの規模や内容が変わってくるわけです。

あえて私が青翔開智に行っていたいただいたのは、こんな額面でもできますよと事前に建設コンサルタントを、専門家を呼ぶっていうのがありますので、ぜひ呼んでいただいて、これでここをという要求が出ているものをまとめてみますと、たぶんこの今の場所の倍近くを必要とします。

例えば駐車場の問題で、役場の職員は他に持っていくと言われますけども、そんなことはなかなか物理的にはできないと思います。土日だったら OK かもしれませんが、例えばウィークデーの日中に大きな大会をするというときには、ということです。

同時に、月 1000 円を払っておられるので、立派に利益が上がっているわけです。使用の権利を、お金を払うことでやっておられて、私はそうは簡単にはいかんと思います。使うときには邪魔になったらどこかに持っていけばいいというのは、ちょっとありえんだろうなと思ったときに必然的に駐車場の確保によって、実はホールそのものの大きさは決まってくるということがありませんかということです。

委員長 今、片山委員さんが言われように、僕らもただこうこうこういうふうにしてくれということでは難しいので、おっしゃったコンサル・専門家の意見を聞いて、ある程度その辺を頭に入れておかないといけないのではないかなということをして今朝、松本次長に話しました。

日吉津村は高専の先生でしたが、岩美町は松本次長が環境大学の専門家の先生に少し相談しようかと話をさせてもらっていますので、みなさんそれでいいよ、ということであれば、どうでしょうか。

委員 話が全然違うのではないですか。

委員 話が早いではないですか。

委員 公民館で規模をどうしようかっていうことでいろんなことを考えるんです。

年に 1 回のために何千㎡のものにするのか、あるいは、これから岩美町に交流人口を増やしたいので、どんどんいろんな大会を持ってきて、そういう施設を造ろうとするのであれば、たくさん施設がいると思います。

それをきちんと整理しましょう。中央公民館の建て替えがまずあります。中央公民館の建て替えで我々は何を意味するかです。片山委員さんが言われるように公民館の目的というの、こういうものかというのは、ある程度出ています。それをプラスアルファして我々はものを考えて造るかどうかなのですよ。

ただ私が今、皆さんと話をしている限りでは感想を聞いていても、そこから外に出ていないと思います。公民館というものがコンサルを呼ぶとか呼ばないにしても、こんなので聞いてもコンサルは何も分かりません。もっと具体的な話をしないと私は思います。話がいろんなところに進んで行っちゃっているから、もうちょっ

	と整理していきましょうよ。
委員	私が言っているのが明らかに場所によって、うわものも、かなり変わってくるじゃないかっていうことです。
委員	私も場所っていうのは分かります。何で場所を選ぶのか。利便性で選ぶのか、大きな規模にするためにはここでは規模が小さいから別のところを選定にするのか、場所を選ぶための目的があるわけです。
委員	あなた自身がいみじくもイニシャルコストの話をするから。
委員	こういう話が出るからイニシャルコスト、ラーニングコストを考えて施設していきましょうっていうふうに考えています。だからそういうような議論をどんどんしていけないといけませんよっていうことです。
委員	だからイニシャルコストやラーニングコストを考えちゃうと、場所の問題が必然的に出てきますよ、ということを私は言っています。
委員	それもあると思います。それが別の所に設けるということは土地をまた買わないといけないわけですよ。町有地があるからって調べたら 1 回目か 2 回目のときに出ているわけでしょ。町有地はここしかないですよというところが。 そういうことも考えたときに土地を取得する、何千㎡のものを取得するのに㎡単価ですと 1 億かかるだったら、それと今の技術でもって軟弱地盤だっていうけれどもここでできるのだったらこう考えていけばいいしと私は思っております。 だから、ここよりも利便性のいいところがあると、そういうところ、あるいはこれから岩美町としてカルチャーゾーンみたいなものを造ると、そういうゾーンのものを考えるのであればそこを取得します。公民館だけでなくその他の様々な文化的なものを造っていけばいい。 私は、今の岩美町のこれからの人口が七千人八千人の人口になってくるときに岩美町のことだけを考えれば、その大きな施設は必要ないと思っております。ただ、交流人口を増やしたいから鳥銀文化会館のようなものを造って、どんどん人を呼んで岩美町を元気にしていきましょうとは、また別な発想じゃないかと私は思います。
委員長	私はやっぱり正直言って悩んでいます。今言った片山委員さんがおっしゃった 1 番最初のときに町長さんが基本的には新しい土地を求めないと基本的には、ですよ。どうしても無理だったら分かりませんが求められている前提がありますし、足かせになるかも知れませんが、目安としては 15 億くらいを 1 つの目安を希望とするというお話がありましたので、簡単に言うと山本さんがおっしゃるように、この場所で建て替えてコンパクトにするか、町民だけのものにするのか、もっと外に持って

	いくのか、そこの選択によって構想が変わってくるなと思います。
委員	それだったら基本的に初めからスタートしないと。十億なら十億のものが施設だけに使わせてもらえるものか、土地もってことになったら。 その辺のところをはっきりしてもらわないと、議論したって結論が、話し合いをしたがいいがだめですよってなったらだめですよ。 これまで聞かせていただいている費用は建設費だけに考えています、ということをはっきり確認させてもらわないと、今の話を聞いてみると土地を持ってしまう話が出てくるとそれこそ話になりません。この土地買うのも、おそらく数億になるかもしれませんし。仮に買うとなれば。だから土地を抜きにして、これまで聞かせていただいた費用は、施設だけの考え方で結構ですよとお墨つきをもらわないと、議論になりません。バックするような話ですけど。
委員	これ私の意見でしてね。その案は 1 つにしないといけませんか。こういうふうな話が別れているときに土地を新たに取得してこういうもの、2 案としてこういうもの、あるいは 3 案があるかもしれません。時間が足りないかもしれないですよ。10 月までに細かいことまで議論していくのだったら、私はすればいいと思います。
委員	検討委員会ですので、極端に言えば A 案 B 案みたいな形で提案する方法もあると思います。例えば、これだけのことをするためにこれだけの土地を求めて、という提案の仕方、それから、今の既存のものを立て直したら、こういう形ということで検討委員会がこのとおりに全部しなさいってことはないです。当然、議会の承認も必要ですし。ある程度基本的なことを私たちは提案する中で、A 案 B 案みたいな形の中でも、それはかまわないのではないかなと思っております。もし、みなさんが 1 人 1 本に絞れというのであれば、絞りますし。
委員	A 案 B 案で建物を替えて良いとなると中身が違ってくことになります。2 つも 3 つもその議論をするのですか。建物が変わった場合と現在の土地に建てるのと。要は、どういう中身のものにするかがポイントでしょ。そのポイントさえまとめておけば A 案 B 案なんて必要ないし、その中身を上手く施設に載せてしていけばいいです。
委員長	みなさんが A 案でいいと言え、今、吉田委員さんがおっしゃたように、具体的にいえ 15 億で建物だけ建ててくれと、そのためにはこういう土地を求めるという前提でやっていくという方法と検討委員会としては、みなさんのご意見はある程度、集約しても複合施設としてはこれくらいのものを造らないといけなから、こういうものを、求めていくという方法もあります。 それはみなさんで検討していただいたら、私はこうしなさいということとは言えませんので、場合によっては、そういう苦肉と言いましょうか、そういうこともあり

	ますので、2 つ出して皆さんで 1 つに絞っていただいて結構です。議論の中で岩美町だけを対象にするか、外から町おこしの様な考え方をして、どんどんよそから来てもらってやるのか、その辺を出し尽くして、どうするのかという話は構わないです。
委 員	今、検討しているものは岩美町民が活用できるものを検討しています。それがどっちに行くか分からないですけど、今よその人に来てもらうような施設はないわけです。岩美町の人が使っているわけですから。そういう施設ですから、そんなに大きいものはいらないと私は思います。
委 員	先ほど僕が発言しかけたのは、委員長さんが、コンサルを呼んでと言われるので、それはちょっと早いと思って言おうと思っていましたが、呼んでもコンサルは困るばかりだというのは、その通りだと思うよ。 それで以前、岸本さんの提案で町の施設が岩美町のどこに何があるかを調べてもらいました。結局、場所もあちこちだし、仮に次のステップとして、今のここで、例えばテニスコートは町の施設ですが、どこか他に移転出来ないだろうかとか、シルバー人材センターもどこかに移転出来ないのか、この辺の近辺の事情を整理していくのはどうでしょうか。 それからさっき言われていた田んぼを持っている人は、公民館ができるけど、うちの田んぼも買ってもらえないだろうかと考えているかもしれません。仮に買うとしたら、いくらくらいになるかという計算をしてみるとか、もうちょっと総合的に考えて整理してみる必要があるのではないかと思います。とってもそんな田んぼだったら高くても買えないとか、最初から田んぼを手放す気はないし、ということだったら、また考えればいいし。話をしてみてくださいという意味ではなく、仮にもし買うとしたら今の値段でどれぐらにかかるものなのか、田んぼは二束三文だと僕は思うけど、逆に田んぼは高いでという人もいるし。
委 員	田んぼは確かにそんなに高くないと思います。ただ、問題は増水です。この辺は全般に沈下しますから、果たして基礎にどれだけ、お金がかかるかです。
事務局	場所がどうのこうの、場所ありきとかそういうことではなくて、やはり公民館・図書館を含めてどういう規模でどういうものを造るかっていうのがあって、それは、例えばここにそういうものを造るとすれば、何が課題であるとか駐車場が問題だとかアクセスが問題だとか、なんかそういうところをこの委員会の中で見つけて、それを提案していくという格好で進めたほうが、進めるのがいいのではないかと思いますけども。 じゃあ、場所がここじゃないとだめだとかそういうことじゃなくて、基本方針じゃないですけど、公民館はこういう目的があって、例えば学ぶ場だとか集う場とか、そういうのであって、それに対して、どういう施設が必要かっていうのがあって、それは先ほど言った町民対象にするのでしたら大体何人どれくらいの規模

	の大きさのものかというのが、できてきたら、いいのかなと思います。
委 員	全くその通りだと思います。
事務局	ということで、場所がどうのこうのと言いますのは、それは 1 つの問題・課題になります。
委 員	それはそれでよく分かるけども、場所が決まらなないと何も決まらないところもあると思います。小学校の跡地とか、いろいろあると思いますけど、仮にここでするなら、整理してもらってみるのも良いと思います。
事務局	仮にここでするなら、先ほどのどれくらいの規模でするかというのがあって、仮にここにするのであれば、例えば田んぼ買わないといけなくなるとか、道がどうのこうのという話が話題というか課題になって、それは費用が新たに発生しますよとか新たにそれは領地を買う費用が発生しますよという話にもなっていくのかなと思います。
委 員	極端に言ったら、僕は横の幅が足らなければ伸ばせばいいと単純に思っているので 3 階 4 階 5 階建てでもすればいいと思っています。お金がある範囲でね。 まず場所を決めてから、その場所にあったものをするということを考えることと、ここが本当に駄目だったら、また考えないといけません。 ここが駄目ではなく、ここでも可能性があるなら、それは考えるし、ここが駄目なら、また考えないといけません。
事務局	例えば、ここで考えるのであれば、当然、基礎のことは考えないといけませんので、それは課題で、それはそれで議論しないといけないと思いますし、施設の規模が確保できるのであれば先ほど言われた、上に伸ばすということも考えられます。 駐車場も広いスペースが必要ならば、立体にするとか何にするとかという話も出てくると思いますし、そういう進め方の方がいいと思います。
委 員	ですから、施設の内容を固めればいいと思います。どういう施設をするかということです。施設の内容によって、例えば会議室が 2 ついるなら 2 ついる。3 ついるなら 3 ついる。1 つは何十人くらいいる、あるいは、1 つはいくつくらいいるのかを、ある程度の規模を決める議論までして、建屋はどこにしましょうかという話にしないといけないと思います。どういうものを公民館として建物の中にどういうものを入れるかということを決めて、それで部分的に会議室は何㎡のものが何個くらいいると、講堂が 500 人なら 500 人の規模のものがいるというようなことを大まかに決めて、それで何㎡くらいいるなど施設の規模が決まらなないと、1 階にするか 2 階にするか、あるいは 3 階にするか決められません。

	そういうものが決まってから、建物が足りないから 1 階にしようとか、2 階にしようとか、できれば平屋がいいけど、そういうわけにはいかないから 2 階が 1 番いいとか、そういうことは必要な内容の部屋を決めてからでないといけません。
委員長	複合施設として図書館はこれくらい、ホールはこれくらいで、部屋はどれくらいいうことを決めてないといけないということですね。
委員	複合施設に何を入れるかということ、例えばこれくらいの施設機能を入れるとか、福祉機能を入れるとかというようなことを決めてもらって、だいたいの大きさを決めるというような側から詰めていくのがいいと思います。まずは施設の概要を決めてから進めたほうがいいです。
委員	まずはホールの大きさを決めましょう。
委員	ホールを決めるのでしたら、岩美町だけを主体にということになれば、今 300 で足りないですけども、今後、人口減少になると今くらいの大きさでいいということになるかもしれません。
委員	現実の実態ではなくて、例えば、鹿野の鳥の劇場は交通の便も良いし、近郊に開けた八頭町もあります。
委員	だから、地域外の人でも来てもらえるような施設にしようかという話も出ています。
委員	岩美町は、そういうことは出来ません。汽車の 1 車両に 1 人しか載っていませんから。
委員	施設が良かったら、ひょっとしたら人が来てくれるかもしれません。
委員	来ません。音楽堂でもそうです。
委員	その施設によって別の考え方があるかもしれません。
委員	鳥の劇場は内容的に全然違います。なかなかあんな真似はできませんし、場所的にもいいということもあります。経営している中島先生がすごいです。同じようなことをしてもいけないと思います。
委員	何度も話が出ていますように中央公民館としての 1 番の核を作らないといけないわけです。それに付随する諸施設はどういうものがあるかということを決めてかか

	りましようと言っています。
委 員	今の話は分かりましたが、委員長、話の詰め方はどうしますか。中身の検討の仕方はどうしますか。
委員長	今、たくさん意見を頂いている中で、今言ったことの中で、これとこれは必要です ねということを決めてもらわないと前に進みません。 とりあえず、規模は別としてホールは必要です。図書館も必要です。 この前、部屋の利用度話を聞きましたが、例えば、作ったけどもほとんど使わないとか、1年に何回しか使っていないようなことではいけないので、それだったらオープンにするとか。どの程度に部屋を持つか、それからチューブが必要なのか、今、あちこちに立派な厨房が出来ているので、喫茶店はいいとか。
委 員	そういうことを詰めて、必要な施設を決めて、規模を決めましようということ です。
委 員	難しいですね。今、ホールがいるとかね図書館機能がいるとか厨房とか和室とか、 なんとなく自由に考えられないです。ここに建てるだろう、ということが下にある ので、全く関係なく何が要りますかということにどうしてもなりません。ここに考 え方が縛られています。だから難しいのです。
委 員	難しくありません。公民館機能の施設の内容を詰めるということですよ。
委 員	公民館機能の施設の内容を詰めるのも、なんとなく場所をイメージしながら詰め ています。自由に夢を言えではないです。だから、難しいです。
委 員	現実を使うものを造るのであって、架空のものを造るわけにはいきません。
委 員	ホールは 300 席がいいか、500 席がいいかとなると、あのあたりになるそうだと、 おのずとこの辺に縛られてくるような感じがものすごくします。
委 員	今ホールの話が出ましたけど、11 月にフレッシュフェスタがあります。この会場 が今、全部入りませんから。300 人だという話は聞いていますけども、あと 2 ヶ月 ちょっとありますけど、それも椅子席だったら 300 入りません。座れば 400 人入れ るかもしれませんが、その辺のところも検討しないとイケません。人数入れるには 椅子席でいくつかで、もし椅子席が無い場合は、その分余分に入ります。
委 員	NHK ののど自慢を見ても、シートを引いて座っているようなところは、どこに もありません。

委 員	そのような話も出てくるでしょうし、だから、とにかく必要な部屋を会議室がいくつ、ホールがいくつ、何が欲しいかということを皆さんから意見を聞いてそれをまとめて、大きさを考えましょう。それが1番早いと思います
委 員	そのとき考える場合もぜひこういう考え方をお願いしたいです。 先ほど、いみじくも山本さんがおっしゃたように、年に1回くらい使うのに大きな物を造ったって意味が無いということがあるわけですね。これからはラーニングコストを稼いでいかなきゃだめだってことは、ある程度外部の人が、利用するか貸してくれとそうなってくると、貸してくれという場合の交流施設を造ってくれという状況が出てくるわけです。 岸本委員さんが言われるように音響をきちんとしたものでないと、誰も貸してくれとは言わないということになります。様々なファクターが絡んでくるわけですよ。何かというと我々の常識では、例えば音楽に関しては全く脳が無いです。やっぱり専門の方々が「これからはこういうものが必要ですよ。こうしないと誰も寄りませんよ、貸してくれとも言いませんよ。」ということがあると思います。 このように議論していても時間が立て込むので、これからの進め方をお願いしたいのが、何人かで出ている意見をまとめていくと、大体分かってきます。例えばコンセプトなんかも、それこそワークショップ形式でやれば、すぐできることです。原案も作って、それを議論した方が速いと思います。 そういう意味でいくつかのワーキンググループを作って分担した方が、質の高い検討ができると思いますので、ぜひ今後の展開について私は委員で事務局とご検討いただきたいです。 ただ、私が一貫して言っておきたいのが、住民の方々の関心は非常に高いので、やっぱりそれなりに、きちっとした検討をしましたということをあとの報告書にこういうことお検討したと、きちんと書いて決定の合意性を保証していくということをしなないといけないと思います。 住民の方々の関心が高いですから、その点をよろしくお願いしたい。
委員長	実際に今日も皆さんの意見をまとめていただきたいという気持ちもありましたが、委員会がありまして、言い訳にはなりますけれども朝、事務局にお願いしていたのですが、当日になりますがいいのでしょうかということで、それもしょうがないなということです。 今、片山委員さんが言われたように、整理してもう1度、次のときはきちんと分けて検討してほしいということも含めて提示させてください。事務局と相談させてください。 そうしないと沢山の意見をいただいております。中学生、高校生みなさん、それから、PTAの田渕さんからもいただいておりますので、だいたい整理していくと同じようなものが出てくるのではないかなと思います。

	とりあえず、たたき台を作ってください。
委員長	はい、分かりました。
事務局	先ほど片山委員さんが、ワークショップっていうのをするとこの前の中高生のワークショップみたいな恰好で、ある程度まとまりができて、その中に具体的な理由があって、こういうのをしたいということが出来るわけですけども、それをまとめれば、まとめたものがたたき台的なものができると思います。 もし次回この委員会の中で部会を分けるか別ですが、ワークショップ形式で委員会を開くってというような恰好をさせてもらったらどうかと思いますが。
委 員	そこまでしなくてもいいじゃないですか。
委 員	非常に短いデータにして、K J法みたいに系統的にやっていくとかなり浮き彫りになります。これをK J法型のデータカードに落とすようにしてというのなら、いくらでも何人かでお手伝いしますし、そんなに難しいことはないです。それから複合施設についてはもう出て来ているわけですから。そうすると意外と粗だけど、ぼやっとしたものがここに浮き彫りになってきます。そういう作業をした方が速いかと思います。
委 員	ワークショップの話もあって、どういうワークショップにするか分からないので、これは疑問を言うべくして、なかなか難しいと思っています。何をテーマにしてワークショップを作るかです。それがやるのだったら考えないといけませんし。 私の 1 つの提案として、場所の話の中でここに建て替えるってことを想定して作ってみるのはどうでしょう。その結果が、ここでは難しいとなったら次のステップにいくしかないですと今、自分で思っていることです。私が出している中では、ここを想定して出しています。ただ、それが進んだ段階では、こういう課題があるというのを自分でも整理しているわけです。ここを出していませんが。それは次の段階ですと思っています。漠然とワイワイって言うのではなくてそういう方向を付けてみたらと思います。ここじゃなくて別のところにしようということなら、別ってどこですかです。1 万㎡くらいの土地を確保してそこでやろうとかそういう話をするならそれでもいいと思います。とりあえずだったらここでやってみて利便性もよくないし、土地もよくないし、何ととってもよくない。それだったら次の展開を考えるしかないと思います。
委 員	今、山本委員さんから、とりあえずここに建て替えるという前提でやってみたらどうですかということで、もし問題があれば、もう 1 回、別のところにこれをうまくするためには、ここは無理だなということであれば、もう 1 回別のところを考え

	るということで、まずここで建てるとしたら、こんなことが考えられるということで提出させてもらっていいですか。
委 員	それは前提が違います。
委 員	僕は反対です。 それを言われるのでしたら、私がイメージしているところはどこかという、岩美高、岩美中の近くです。 というのは 10 年前の岩美構想の中であの辺りを教育文化ゾーンにしようという具合に提案しているし、町長も将来、岩美中が少子化によって空部屋が出てきたときに社会教育施設で使いますと、こう言っているわけです。 じゃあどこかと言ったら私は、県と掛け合って岩美高のグラウンドの 3 分の 1 くらいを使わせてもらって、奥の山を広げれば良い話です。 ご存じの通り、岩美中のところのグラウンドも半分は岩美高のものです。岩美中のグラウンドは大変狭くて困っています。そういうことも含めて、それと前が榎本町長の畑だと思います。あと県道の前を少し迂回しますけども、あそこを入れれば直接広い道路で入ることができます。これが 1 点です。 もう 1 点は、小学校の統廃合ということが 10 年くらいで具体的にできるとするならば、私は、北小を使った方がずっと賢いと思います。北小の前を大きな畑がありますが、ある意味では広い駐車場や県営駐車場を使うことができます。 現実的には北小も、かなりの空き教室が出ています。言ってみれば将来、生まれてくるだろう公共の遊休施設を上手に組み込むと、いわゆる複合化させちゃうことによって、私はかなりコストを下げ、下がった分は良いものができるという具合に考えています。 逆に、ここはかなり余分なお金を食うことになるだろうなという意味であえて私はそう思います。
委 員	場所のことは、また検討しないといけませんが、提案はすればいいと思います。
委 員	とにかく、どういう施設の中身を造るかということを決めましょう。でないと先に進みません。その後に位置は、こういうものをどのくらいの規模で、ここで狭ければ、どこにしましょうということに持っていけないといけません。ここで迷うなら、ここにするとか。
委 員	最終的に、僕は第 1 案、第 2 案、第 3 案、ABC でやっていただければけっこうですけれども、ここにこだわってやっちゃうと、私はかなり疑問が出ると思います。
委 員	とにかく作ってきてください。それでないと私たちは検討のしようがありません。コンサルタントに頼むなら、お金がかかりますし。

委員長	悩ましい問題ですね。 今たくさんの意見をいただきましたので、事務局ともう1度詰めたと思います。
事務局	1つの案というか、議題的なところとしては、先ほど山本委員さんが言われたように、町長の方もここは言いませんけども、1つのこの周辺とか、そういう話は以前から出ている状況もありますし、1つの案として、ここを想定するというで話を1つ進めて、これはやっぱり問題だとか、できないということになれば、また1つそこが解決できる方法は、別のところを確保しましょうか、でも確保するにあたっては、領地を買わないといけませんというのが、また1つの問題で出るように、いろいろあると思うので、事務局としても漠然と何案も作っておけというわけにもいきませんし、話が進みにくいと思うので、先ほど言われた、ここが1つの案として、こういうものについても議論してもらえればなというふうに思います。 その中で地盤が不安だぞとか駐車場がどうだぞとか、それをどうしたら解決しようかという話になっていけばいいのかなと思います。
委員	私のお願いは、ここでいうときは、コンサルタントなんかにぜひお願いをしていただきたいです。設置にあたっての専門家を呼ぶことができると書いてありますから、それを私が要求しているわけです。
事務局	だから、そのときにはそれが1つの問題になるわけで、それをこの場でするのか、提案の中で必ずこれをすべきだというふうに提案していくのか、ということになるかもしれませんが、そういうことでいいと思います。 ここの中で金額的なことは問題になると思うんですけども、漠然と無制限にお金があるというわけではないので、いろいろ出るとは思いますけども、やっぱりそういう地盤の不安なところがあるので、それは必ずチェックしてくださいなり、そういうコンサルにしてくださいというような条件をつけた上で、ここが1つの案としてありますよとことを示していけばいいのかなと思っております。
委員	その話は、まだ後でいいです。建設の話は中身をどうするかってことを決めなければなりません。
事務局	話の中で、例えばここに建てるときには、こういう条件がありますよというのは確認しておかないといけないと思うところがあるので、機能はありますよ。これくらいの機能にしないといけないということがあります。 例えばそれをここに建てるときには、こういう地盤の問題がありますよ。じゃあこれを他の地盤の問題があるので、他のところと同じ様なものを建てるとしたら、領地買わないといけませんよ。その領地買うのにじゃあどこがいいですかっていうのが、また1つ問題になってくると思うので、それを話し合っていけば、そういう

	ふうな話し合いの仕方をしていったらどうかと思います。
委 員	この会議の冒頭にも話したけど、建物を買うお金ではなく、施設だけの十数億のお金を使わせてもらえるかを確認したいです。でないと建物も入っていましたが言われると、議論した中身は、これは止めましょうばかりになる可能性も出てきますから、その辺のところをはっきりしてください、ということです。
委 員	でもあなた方が、畑とかを作るにしても素人だからできないと思います。コンサルに頼んで、ある程度の計画を立ててもらわんと素人が考えてもできないと思います。
委 員	コンサルに頼むなら、もっと詰めてやらないと、どんな施設がどれだけいるとかね。それから、こういうような機能を持たせたいとか、そういうのを決めておかないといけません。
委 員	だから、こちらから、ある程度、意見を出したら、良いものができるのではないかとっています。
委 員	コンサルに頼むなら、もっと詰めてやらないといけません。それ出したらコンサルは3つも4つも案を出してきてしまいます。
委 員	だから、コンサルタントではなくて有識者でいいですから。環境大学の人で、日吉津と同じように高専の先生がアドバイザーとして入ってきて、その程度のアドバイザーでいいですよ。
委 員	アドバイザー入れるとしてありましたもんね。だからアドバイザーで予算も計上されていました。
委 員	必要ならば、アドバイザーなりと。
委 員	それなら、いつ頃入れますかと僕は1度聞いたと思いますが。
事務局	例えば、そういう話の話題の中で地盤やそういうところの専門のアドバイスがうけたいなということがあれば、機能がどうのこうのっていうことであれば、図書館の機能であれば、県立図書館の人をお願いするとか、そういう話は出来ると思いますので。
委 員	委員長のお友達頼んで、タダでアドバイスして頂けませんか。

	ざっくばらんに話だけはしてあります。お金払わないと言っています。とりあえず知恵を貸してほしいと言っています。
委 員	ある程度、話がまとまって形が見えてこない、タイミングを見ています。いつでも来て下さいと言っています。 もうちょっと整理して盆明けになると思いますが、具体的に議論することが出来るように、事務局ともう少し話し合います。 今後、大事なことです。いろいろな議論をした上で、ということで中学生・高校生にも聞きました、いろんなところから意見もらいましたし、ある程度これから煮詰めての段階になると思いますので、盆明けになると思います。 皆さんにまた連絡させていただきますので、了承していただきたいと思います。よろしいですか。
委 員	また、同じ議論になるんじゃないですか。
委 員	前回から全然、進展していないですよ。今日、時間をかけて皆さんの感想を聞かれました。その感想が今の話の中にどれだけ生かされているかと、ずっと聞かせていただいているんですが、やっぱり議論をきちんと整理して進めていただきたいです。 是非、前もって資料を頂けた方がいいと思いますよ。
委員長	ではまた盆明けに 8 月末になるかも知れませんが、お盆が終わってからということで、今、山本委員さんの方から資料を先にということでしたので、そのように提供したいと思います。よろしいでしょうか。 長時間すいません。今日はこれで終わりにさせていただきますので、どうかよろしくお願いします。どうもありがとうございました。 (20:30 終了)